

<みんなの日記>

3月25日 (日)

高1 男子

今日は出発日前の事前研修があった。自己紹介をしたり、各自で質問しあったりして仲を深めた。夕食後は向こうの小学校で発表する予定であるドラえもん古いバージョンの曲とサカモ専用の宇宙戦艦ヤマトの主題歌、そして、2020年東京オリンピックに向けて作成された2020東京オリンピック音頭を練習した。解散の後は部屋に戻り、明日のフライトに備え早めに寝た。

3月26日 (月)

中1 男子

ネパールの中で一番大きいカトマンズ空港に到着した。しかし、ゲートが五つしかない小さい空港だった。空港から車でホテルまで車で移動したが日本よりもホコリっぽかった。夕ご飯は初めてのネパール料理であるヌードルを食べた。そうめんのようなものの中にたまごや野菜が入っていておいしかった。

中3 女子

今日はほとんど飛行機の移動だった。カトマンズは排気ガスがすごくて、ホコリっぽかった。狭い道を通行人を避けながら走っていった。夜ご飯はラーメンのようなもので、少し味は薄めだった。夜でも街が盛んだった。ホテルは綺麗で良かった。

3月27日(火)

中3 男子

今日は、世界遺産に行ったが、世界遺産だからか物売りがたくさんいた。値切りをすることができるのだが、私は、500ルピーだったものを、300ルピーまで安くしたのだが、他の子達が、試しに100ルピーと言ったら、なんと通ってしまい、自分だけ200ルピー損したような気分になった。しかし、そこから自分でももう少し値切れると言うことを、学ぶことができ、明日も実践してみようと思った。

高1 男子

今日は主として世界遺産バクタブルの観光と学校への訪問を行った。バクタブルは地面、建物のほとんどがレンガでできているレンガの街だった。ただし、レンガが敷いてあっても道はガタガタだし、建物も傾いていて、適当に木等で補強してあった。建物を建てる足場も竹でできており、日本ではまずあり得ない光景だと思った。途中所々にある広場には大きな塔（お寺？）もあり、そこは観光地らしさが漂っていた。ただ、そういう場所には物売りやお金をせびる人も多く、世界遺産になり、一大観光地になるとこんなことになるのかと思うと、少し残念だった。昼御飯は広場の1つにある3階建てのレストランで食べた。景色はまあまあだった。午後は学校へ行き交流をした。目的のクラスと交流する前に少し自由時間があったので、耳が聞こえず喋れない子供達のクラスと少し交流したが、そこで僕が1番驚いたのは、**全員が全員ともとても明るかったこと**だった。（日本

ではそういう障害者の人というのは健常者から悲しまれる暗い存在というイメージが強いが) ここの子供達はその逆境を逆境と思わず、それを活かしていこうというやる気?みたいなのが溢れていて凄と思った。そこでは折り鶴を折ったりノートをあげたりして、時間が来たので目的のクラスへと移動した。ここでは自己紹介の前に伝統的な帽子とストール?スカーフ?みたいな、そして昨日もらったのと同じ花(マリーゴールドの一種らしい)のレイをもらった。自己紹介はまずまずウケたので安心。その後は再び折り鶴タイムへと突入したが、皆飽きっぽい性格なのか半数以上の人が途中でやめてしまいこやちゃんが持ってきていたバルーンの方へと行ってしまった(笑) 折り鶴タイム終了後は向こうの子供達が練習している楽器で山登りの時の歌?を演奏してくれた。その後こちら側が練習していた曲を歌ったが、今一よくわからなかったのか物凄いいレベルでシケた。交流が終わるとホテルに戻り、しばし休憩した後両替をし夜のカトマンズへと繰り出していった。こちらの街にも物売の人がいるが、こちらの人はいたいにして、針金細工を売る人、ネックレスやコースターを売る人、楽器を売る人にわかれることがわかった。どれにしても目を合わさないようにしてガン無視していれば大抵諦める。大体の目星をつけた後夕食へ。夕食はピザだった。夕食後はホテルに戻り、軽くミーティングをして部屋に戻り明日の長時間移動に備え早めに寝た。

7月28日(水)

高1 男子

6時間かけてのバス移動。カンチャさんが『真っ直ぐの道』と、言った道路は、驚くほどぐねぐね&ガタガタだった。そもそも予定の時間より1時間も遅く来た。コーディネーターのカンチャさんの言葉を信じ、数少ない酔い止めを飲まなかったため、みんな車酔いしてしまいました。この日の夜のミーティングで、そのことをカンチャさんに伝えたら、カンチャさんが、「ネパールではこの道路は5年前に政府が作ったネパールでは一番真っ直ぐな道なんだ」と、ちょっと悲しい顔で説明してくれた。正しくカルチャーショック。ネパールに来て心に響く言葉でみんな凄く考えさせられるな出来事の1つでした。

中1 男子

カトマンズからポカラまでバスで六時間かけて移動した。そこで驚いたことが二つある。一つ目はバスが1時間ぐらい遅れてくるのは普通だということである。二つ目はネパールでは道をあえて舗装しないということである。舗装していない道はスピードが出せないなので事故が少なくなるという。また、ネパールにはトンネルがないので山を越えるにはとても時間がかかる。とても大変だった。

中1 男子

今日は、バスがいきなり1時間遅れてきた。待っている間は、カンチャさんとネパールについて話した。後から聞くと1時間は短いほうだと言っていた。とても驚いた。バスが通った道はとてもガタガタだった。酔ってしまったが、カンチャさんは昔はもっとガタガタだったと言っていた。これについても驚いた。日本の普通とネパールの普通は違うなと思った。

中3 男子

今日は、バス移動だけだったのだが、まずバスが来るのが遅すぎた。多分、1時間ぐらい遅れたと思う。外国では、時間が遅れるのが当たり前のように、日本の時間の考え方がどれほど正確なの

か、知ることができた。また、日本と違って道がガタガタなのも見て、日本がどれほど整備されているのか、知った。

中3 女子

今日は6時間かけてポカラまで行った。バスはすごく揺れて砂埃が入ってきた。道が悪く狭くなってきたけど、ネパールではいい方の道だった。山の中なのに綺麗な家が沢山あって、カトマンズで食べるような普通の料理だった。ホテルのご飯が注文してから出てくるのに、1時間くらいかかって長く感じた。夜は雨が降ってきて雷がずっとなっていた。霧がかかっている、ポカラが綺麗には見えなかった。

7月29日(木)

中3 男子

今日は、トレッキングをしたがとても暑く、辛いと言うよりも、暑かった。とても汗をかいてしまったが、途中の休憩所にあった水道で頭をシャンプーをしたのは、なんとも言えず気持ちよかった。また、どれだけ汗をかいても洗って、日向に置いておけば、すぐに乾いてしまった。日本にかえってからмокせになりそうで怖い、、、

高1 男子

今日は朝早く起き朝日を見る予定であったが、昨晚の夕立のせいか曇っていて頓挫。朝食を8時辺りから食べ始め、その後は丘の頂上まで少しお散歩。頂上部の広場には展望台も用意されており、そこからかすかであるものの、アンナプルナサウス、マチャプチャレを見ることができた。ここで知ったのだが、ネパールでは一年中雪が消えない場所をヒマラヤ、それ以外の場所は山と呼ぶらしい。ロッジへは行きとは違う道を通って帰ったが、途中でこちら側（主にこやちゃん）に付いてきていた犬と自分の縄張りに入られたらしき犬とのバトルが発生。現代日本では見ることのできない光景に、その犬には悪いが、とても良いものを見た気がした。そのバトルはすぐに、側に居た人によって止められた。ロッジに戻り、少し休憩した後登山口まで移動、登山口からは車が登る山道をゆっくりと歩いて登った。途中あった休憩所で、男子総勢は汗をかいていたため、水浴び。さっぱりした後30~40分ほど歩き昼御飯休憩ポイントへ。飲み物はすぐに出てくるが食事は一時間ほど待つことになる。昼食後は再び登り始めるも、今度は車の通れない本格的な山道へ。しかし、日本の登山道より遥かに整備が進んでおり、歩きやすかった。ネパール最高級の道は最低の道であったが、ネパールの普通の山道は高級な山道であった。途中、ミニグアナのような蜥蜴や不思議な黄色い実、百合科であろう綺麗な白い花などがあつた。頂上部分へ出るとロッジまでは40分ほど歩いた。ロッジに着いても景色の方は曇りのためか霞んでおり全く見えなかった。夕御飯は食堂で二時間近く待ち（その間に風呂へ、昨日よりまし）ピザを食べた。1つわかったことはネパールのピザは遅いがハズしない。夜は昨晚と同じように雷がひどい。明日に期待。

7月30日(金)

中1 男子

山の学校に行ったあと、展望台に上がり山を見てきた。学校では折り紙の手裏剣やつるが人気だった。展望台からの景色はとてもきれいだった。マチャプチャレやアンナプルナがとてもよく見えた。

中1 男子

今日は僕の誕生日だった。しかし昨夜食べたチキンカレーで吐いてしまった。なので今日はなににもできずに、終わってしまった。しかし夜、みんなが来て誕生日を祝ってくれた。カンチャさんたちからはネパールの帽子をもらい、チェリーからは幸せになる腕輪をもらった。とても嬉しかった。どこにも行けなかったが、祝ってもらえてよかった。

中3 男子

学校を訪問して、やっぱり教育というのは大切なことなんだと思いました。1つ戸惑ったことと言えば、プレゼンをするときに、子供たちが取り合いになっていたことです。どんな国にも子供たちはいるし、その一人一人がきちんと、感情を持っていることを改めて、感じました。

中3 女子

朝は曇っていて、綺麗にヒマラヤが眺められなかった。今日は、学校訪問をした。折り紙は作り方を教えるより作って沢山あげる方が良かった。午前中は天気が良くて外で遊んだ。紙風船や竹とんぼで遊ぶのが楽しかった。午後から大雨が降ってきて、少しの間停電した。雲が少しなくなって、ヒマラヤの下の方が見れた。その後、もっと晴れて展望台から見たヒマラヤが綺麗だった。夜はトランプをして遊んだ。

3月31日(土)

高1 男子

朝の時点で、こやちゃん、サカモ、タクトが、ダウン気味。こやちゃんとさかもを抜き朝食をとった後、あっきー&グロさんと一緒に昨日の夕方に行った展望台へ。朝見るマチャプチャレとアンナプルナ連峰は空気が澄んでいるおかげか昨日とは比較できないほど綺麗だった。30~40程写真を撮ったり山の説明をしてもらったりしてロッジへと帰還。途中二人とも展望台の柱に名前を記しておいた。しばらく休憩した後夕食へ。途中湖の側の公園を散歩。寝ている犬や、歩いている牛に気を付けながら湖の景色とネパール唯一の島の光景を楽しむ。街へと戻り、買い物など少し散策した後カンチャさんオススめの民族舞踊の見れるレストランへ。辛いものが多く、パフェチックな何かしか食べられなかった。そして、ここでこやちゃんとさかもが再びダウン。仕方がないのでたくと、カンチャさん、cherryの四人で歩いて帰った。ホテルに戻ると軽いミーティングの後シャワーを浴び就寝。

4月1日(日)

高1 男子

バスが初めて定刻通りに到着。前半は順調に進んだ。が、昼食休憩の1時間後バスの中のエアコンが故障。車内は熱帯へと変化した。エアコンを直そうと試みるものの直らず。20~30分ほど停車した後動き出したが、渋滞にかかり、熱いままカトマンズへ。カトマンズの市内に入るとバスの通れない細い道が多くなるので800ccのタクシーでホテルに移動。ホテルで軽くシャワーを浴びた後夕食へ。夕食は日本料理を食べに行ったが、日本人が料理しているわけでもないのにちゃんとした豚のしょうが焼きが出て来て少し驚いた。夕食の後は買い物をした後ホテルに戻り早めに寝た。

4月2日(月)

中1 男子

カトマンズの市内観光をした。お寺に行ってきたが仏教の寺の敷地内にヒンドゥー教の寺が入っていたのが不思議だった。また、生き神様も見てきた。これもヒンドゥー教の神様なのに、仏教の民族からしかなれないので不思議だった。生き神様は二つの川に挟まれた場所で生まれた女子で、体に傷がないなど三〇の規則を満たした特定の民族からしかなれない。人前に姿を出すのは珍しいことだったので、見られてよかった。

中3 女子

今日の午前中は2つの世界遺産を観光して、午後から少しだけ買い物、フライトをした。世界遺産の一部は地震で壊れたものもあった。ネパールには世界で唯一、生き女神という生きてる神様がいます。生き女神は30くらいの条件をクリアしないと成れない。年に2、3回しか外に出ないので学校にも行けないので、家庭教師を雇って勉強をする。初めの6ヶ月以降は親も家に泊まれないので、可哀想だと思った。

4月 3日(火)

中1 男子

今日は韓国で約4時間過ごした。僕はとても疲れていたものでほとんど寝て過ごした。飛行機のなかでは少し今までのことを振り返った。日本に着いてみんなと別れる時、とてもさみしい気持ちになった。10日間とても短かったなと最後に思った。

高1 男子

飛行機の中で日を跨ぎ、朝の6時頃仁川に到着。二時間ほど寝たりして休憩した後成田へ。成田では最後のミーティングをして解散。東京駅に着くと急いで切符を買い、こやちゃんと一緒に新幹線へ。京都で無事に降りたと思ったら指示を間違えたようで他の場所へ行ってしまい暫し反省。岡山では無事に降りれた。家に帰ると倒れるように夢の中へ。

<みんなの感想>

東京都 中学1年 男子

今回のネパールではとてもいい体験ができたと思う。その中で心に残ったことが二つある。

一つ目は山である。マチャプチャレやアンナプルナがとても素晴らしかった。特にアンナプルナはアンナプルナⅠやアンナプルナⅡのようになっているので面白かった。**約5300mまで上ることをトレッキング、それより上に行くことを登山**だときいて日本の山がとても小さく見えた。

二つ目は町である。全体的に時間にルーズで最初の方は困ってしまった。また、信号がないためとても怖い。道路を渡るタイミングがつかめないのが、ネパールでは現地の方がとても重要だと思う。世界遺産ではヒンドゥー教と仏教が混ざり合っているのが面白かった。生き神様は神様だが生き神様になれるのは、仏教の民族である。また、仏教の寺の敷地内にヒンドゥー教の寺があった。このようにネパールでは違った宗教が混ざり合っていた。

今回の研修で失敗したことが二つある。

一つ目は、おなかを少しこわしてしまったことだ。少しつらかった。

二つ目は、日本でもできることをやっていたことだ。wifi の場所を探し、充電できるかなどの心配をしていた。これらのことは今後気を付けたい。最後にチェリーさん、カンチャさん、ガイドのみなさん本当にありがとうございました。

奈良県 中学1年 男子

僕が今回ネパールに行こうとした理由は、ヒンドゥー教の建物や世界文化遺産を見るためでした。でも他にもたくさん見たり、知ったりしました。僕がネパールで知ったことのなかで驚いたことはまず道の違いです。ネパールの道は日本では考えられないほどガタガタだったけどガイドの人がこの道は平らなほうだと言ったことに僕は驚きました。あと、物の安さです。ネパールでは1リットルの水は30円で買え、キーホルダーは50円で買える物もありました。

メンバーは男子4人、女子1人でした。どの子もとてもおもしろくすぐ仲良くなれました。1人僕の同い年がいて部屋はほとんどその子と一緒に一番仲良くなれました。僕以外の子はみんな一度は海外行ったことのあるのでとても頼りになりました。最終日、それぞれの家へ帰るときはとても寂しかったです。僕は10日間だけでも毎日常に一緒に過ごすのが辛くなるんだなと思いました。

ネパールの食べ物は何れも少し辛くて食べられないものが多かったけどどれも美味しく、チキンカレーが一番美味しいと僕は思いました。最後の何日かは日本食が食べたくなり、町の日本食屋さんに行くと日本と変わりのない日本食でとても美味しかったです。メニューも日本語で懐かしく感じました。

僕がネパールへ行って得たものは「**どんなことでもチャレンジする事が大切**」だということと「**海外へ行くときは普段のあたりまえを無くさないといけない**」と、ということです。

北海道 中学3年 女子

ネパールの第一印象は、ホコリっぽくて道が悪くてバイクが多いということでした。観光に行くと物を売りに来る人やお金が欲しいと話しかけてくる人が沢山いて少し怖かったです。車が走っているのに普通に道路を歩いたり、バスが何時間も遅れてきたりしました。だけど、料理は美味しいし、山に行くと静かで空気が綺麗ですごしやすかったです。晴れた日には綺麗にヒマラヤが見れました！

楽しみにしていた学校訪問では、ネパールの子供たちに折り紙を教えたり、一緒に紙風船で遊んだり想像していた以上に楽しかったです。「**豊かな暮らしが出来ていないので明るくないと思っていたけど、外に出たら走り回って、楽器をもったら楽しそうに弾いていて逆に元気をもらいました。**」他の国にも支援をしたいと思えるようないい経験になりました。

街は、大震災で崩れているところがほとんどで建設途中の所も多くあったけど、建設の仕方や繁華街の様子から異文化を感じました。

ネパールは日本とは対照的な国で日本の暮らしの便利さに気付かされました。1週間ほどの短い旅だったけどたくさんのことを学べたと思います。行く前まではどんな所かととても不安だったけど、とても楽しかったです。

東京都 中学3年 男子

今回、ネパールにいったって学んだことは主に2つありました。

1つ目は、どれだけ日本が恵まれているのかということです。ネパールでは、ご飯が出てくるまでにも、何時間もかかり、水道水も飲むことができない。また、バスなども時間を守らない。しかし日本では、ご飯はすぐに出てくる、水道水も美味しく飲むことができる、電車なども遅れることはほとんどない。しかし、日本にいたら少しご飯が出てくるのが遅れてしまったり、電車が遅れてしまったりするだけで文句を言う人がいる。これは、どれだけ恵まれているのか、日本人のほとんどは気づいていないと思います。しかし、今回ネパールに行き、日本で当たり前なことはとても恵まれていることだと感じることができました。

2つ目は、自分から発信する能力がないものは、どんどん損していくということです。ネパールではお店などでものを買おうとしても、少し高く値段を言ってきます。しかし、日本にはない文化である、値切り交渉ということが当たり前のようにできます。日本では黙っていても妥当の値段で物を買うことができますが、ネパールでは自分から安くしてくれなどと発信しない限り、相当な損をしてしまいます。しかし、これからグローバル化が進む日本でも、このような自分から発信する能力が大切になってくると感じました。以上のことを、ネパールでは感じ、学ぶことができました。当たり前が*当たり前でできることに感謝しこれから生活していくことが大切だと思ったので*、ネパールで学んだことを生かして生活していきたいと思います。

岡山県 高校1年 男子

僕が今回参加した理由は、ただ単にヒマラヤが見たい、というものでした。僕もネパールに行くまでは、ネパールはエベレストがあって、この前地震があったとこ、ぐらいの印象しか持っていませんでした。ただ、実際に行ってみると、ネパールは僕の想像を遥かに越えていました。例えば自然。山の上のロッジに行くと、ヒマラヤが見えた時、また、朝の展望台でマチャプチャレとアンナプルナ連峰を目にした時、今すぐ5日程前のヒマラヤをなめきっていた自分を殴りに行きたいくらい綺麗でとても感動しました。もう1つ驚いたのは、都会の子供達とはともかく、田舎の子供達も全く臆することなく接してきてくれたことです。例えば僕が住んでいるような田舎の学校に、いきなりサングラスをかけた怪しい外国の人が交流に来たとしたら間違いなくビビってしまって話しかけることすらできないと思います。ところがネパールの子供達はこっちがビビってしまうほど積極的で、日本人にもこういうところがあればもっと海外に進出していけるのかな、と思いました。

次に僕の想像を越えていたのは道路事情でした。なんとなく希望も含めて、せめて舗装はなくてもある程度は均してあるはず！と思っていたのですが、全くでした。特に、大通りはまだ良いものの*一度路地に入れば道はガタガタというか穴だらけというか、おおよそ日本においては道と呼べないようなものばかりでした(笑)信号も1つも無い*ためバイク勢方々は隙間を抜けたりいきなり曲がったりとやりたい放題。交差点の真ん中のあずまやみたいな所に警察の人が交通整理のために居るものの、中にはスマホをつついていたり、無線で楽しそうに話していたり、拳げ句の果てにはバナナを食べている人もいてグッチャグチャでした。見ていて、仕事をちゃんとするという感覚が薄いのかな？と思いました。

そして、僕は建築系のことにも興味があるので、今回の旅でいろいろな建物が見れてとても面白かったです。日本ではあり得ないような竹の足場や傾いた建物や、建てかけたが予算の関係で途中になったにも関わらず人が住んでいる家など、見ていて飽きませんでした。ただ、日本で見られる

ような木造の建物は全くと言って良いほど無く、ほとんどが鉄筋コンクリートかレンガ造りで、これは木材や値段、地盤の関係なのかな？と思いました。また、普通の道はあまり整備されていないのに、山道はかなり整備されていて、これはそこに住んでいる人が必要としているかしていないかの差かな？と思いました。

今回の旅で、ネパールに抱いていた印象は完璧と言っても過言でないほど覆されました。**日本にいてぬくぬくと過ごしては絶対に体験できないようなことを体験できた**し、様々な人、自然を直に感じることができ、自分の人生の大きな糧にできたのではないかと思います。次はしっかりと勉強して、ネパールに恩返ししに来たいです。それまでに、今回見てきたネパールではなくなってしまっているかもしれないけど、何時か絶対にもう1度来たいです。